

令和3年度

三島中学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎学力の定着を図り、個に応じた指導の推進
- ②主体的に学習に取り組む習慣をつけるための家庭学習の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
大塚みどり	校長 竹内 寛泰 教頭 長江 徹子 教務 畠中 剛喜 1学年主任・国語科主任 大塚みどり 2学年主任 原田 尚子 野田 圭祐 3学年主任 佐藤 篤史 数学科主任 岩山 敦志

校長

竹内 寛泰

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いた態度で話を聞いたり、与えられた課題に一生懸命取り組んだりすることができる。 ○漢字の読み書きや四則計算や基本的な法則の理解等について定着が見られる。 ●わからないことをそのままにせず自分から進んで質問するなど、主体的に学習に取り組むことのできない生徒が見られる。	①基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。 ②授業中、わからないことをそのままにせず、自分から進んで質問することができる。	①授業の目標と流れをはじめに示し、見通しをもって学習に取り組ませる。 ②朝学習の確認テストで70%以上、正答できなかった生徒には再テストをするなど個別指導を実施する。 ③授業や家庭学習でふりかえる時間をつくる。	①2学期も1学期の取組を継続しつつ、ステップアップテストや全国学力学習・状況調査で明らかになった課題を計画的に授業等に取り入れる。	①各教科とも授業の目標と一連の学習の流れを示し、見通しをもって学習に取り組むことができた。 ②朝学習の確認テストで70%以上の正答率が得られた。合格点に達しなかった生徒は、再テストをし、個別指導ができた。	・今年度に引き続き、各教科で授業の目標と学習の見通しをもった取組を継続する。 ・朝学習で取り組む教科を検討し直し、それに伴って確認テストの内容や合格基準等を考える。また、タブレット端末を活用した朝学習の内容も検討する。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○方法や手順が示されている学習に、集中して取り組み、課題解決のためのグループ活動に意欲的に取り組む。 ●自分の考えを相手にわかりやすく伝えることが十分でない。	①なぜそう考えたのか根拠や理由を明らかにして、自分の考えをわかりやすく表現することができる。	①タブレット等を活用し、生徒自身の考えを表現できる機会を増やす。 ②定期テストに思考力や表現力を問う問題を出題する。 ③授業力向上のための研修や授業研究会を実施する。	①思考力・判断力・表現力等の育成を図れるような内容を取り入れたワークシートの作成や板書等の工夫をする。	①思考力・判断力・表現力等の育成を図れるような内容を取り入れた定期テストの作成、ワークシートの作成や板書等の工夫ができた。 ②学期毎に1回「まなびウィーク」を設け、授業力向上のための研修ができた。	・思考力・判断力・表現力等について再度研修する。 ・授業力向上のために「まなびウィーク」を再度検討し直す。 ・タブレット等の活用について、効果的な場面を探る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習の準備や板書をノートに写すなど基本的な学習態度がほぼ定着しており、与えられた課題に真面目に取り組むことができる。 ●家庭学習のやり方や習慣が十分でない生徒が見られる。 ●自ら課題を見つけ解決する力が十分育っていない。	①テスト前には「ふりかえり手帳」を使った「学習計画表」を作成し、計画的に勉強することができる。 ②計画的に課題解決に向けて自ら取り組むことができる。	①学習課題を確認・実行させる。 ②主体的な取組につながるように、励ましや褒める言葉をかける。	①生活面・学習面の日々の記入が、今まで以上に計画的に活用できるように「ふりかえり手帳」の使い方を再度見直す。 ②毎月1回、生徒が学習課題に取り組んだり、自主的に質問できたりする自習学習の時間を設ける。	①「ふりかえり手帳」の使い方について校内研修を行い、効果的な活用方法について見直すことができた。 ②毎月1回、「GoGoタイム」を設けたことで、生徒が自主的に質問する場面が増え、学習課題に意欲的に取り組む様子がうかがえた。	・次年度初めに「ふりかえり手帳」の使い方等についての話し合いを全職員で行い、さらに効果的な使い方ができるように共通理解を図る。 ・次年度も「GoGoタイム」を継続するが、生徒の学力向上につながるような手立てを考え、全職員で取り組んでいく。 ・スタディサプリ等の教材を使って、家庭でも自主的に学習に取り組めるように各教科で工夫する。

令和3年度 学力向上ロードマップ

